



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

# UACJが目指す“軽やかな世界”

株式会社UACJ

代表取締役 社長執行役員 田中信二

2024年度開催



# 略歴



1963年生まれ。愛知県出身

4月に社長就任以来、国内外25か所で  
従業員との「繋ぐ」と称した対話会を実施中。  
趣味はウォーキング、ゴルフ。  
休みの日には商店街を散歩することも。

- 1987(昭62)年 住友軽金属工業 入社
- 2016(平28)年 UACJ(Thailand)Co., Ltd. 取締役
- 2018(平28)年 UACJ 執行役員
- 2021(令3)年 UACJ 取締役就任  
構造改革本部長  
ビジネスサポート副本部長  
財務副本部長
- 2023(令5)年 UACJ 取締役 常務執行役員  
サステナビリティ推進本部長  
板事業副本部長(製造)
- 2024(令6)年 代表取締役 社長執行役員 就任

- 1 | **UACJの概要** 3~13
- 2 | **UACJの強み** 14~19
- 3 | **2030年に向けて** 20~49

# UACJの概要



*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界

## UACJとは

2013年10月、古河スカイと住友軽金属工業の経営統合によって  
グローバル規模のアルミ圧延会社が誕生（世界2位グループの生産規模）

The logo for UACJ is rendered in a bold, sans-serif font. The letters 'U', 'A', and 'C' are in a medium blue, while the 'J' is in a darker blue. The 'A' and 'C' are connected to the 'U' by a thick, dark blue horizontal bar that extends to the right. The 'J' is positioned to the right of this bar, with its top part overlapping the bar's end. The entire logo is set against a white background.

# UACJグループが目指す“軽やかな世界”

## UACJグループ理念



### 企業理念(パーパス)

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。

### 目指す姿(ビジョン)

アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。

### 価値観(バリュー)

## 行動指針「UACJウェイ」

#### 相互の理解と尊重

- 地域社会との交流を大切にし、貢献する。
- 人の多様性を認め、価値観を尊重する。
- オープンなコミュニケーションを実践し、チームと個人の成長を大切にする。
- 「イキイキとした職場づくり」を推進する。

#### 誠実さと未来志向

- 5ゲン主義に基づき行動する。
- 現実に真摯に向き合い、物事の本質を捉えた「誠実なモノづくり」を通じて、ステークホルダー目線の期待に応える。
- 「未来志向」で時代を先取りし、地球環境を守る活動に積極的に取り組む。

#### 好奇心と挑戦心

- 環境の変化に対して常に「好奇心」と「挑戦心」を持ち、社会が必要とする製品とサービスを提供する。
- 社会の将来に向けたオープンイノベーションに対して、創造力を持って取り組む。

## 行動指針「UACJウェイ」



# UACJの沿革

2023年で経営統合から10周年、事業開始から125周年を迎えました

## Furukawa-Sky Aluminum Corp. 古河スカイ

1910

古河電気工業(株)が  
アルミニウム電線の販売を開始

1964

スカイアルミニウム(株)を  
設立

2003

古河スカイ(株)設立

1935

住友金属工業(株)設立

1898

「住友伸銅所」で  
アルミニウム圧延事業を開始

1959

住友軽金属工業(株)設立  
(住友金属から分離)

## Sumitomo Light Metal Industries, Ltd. 住友軽金属工業

2013  
UACJ

2023

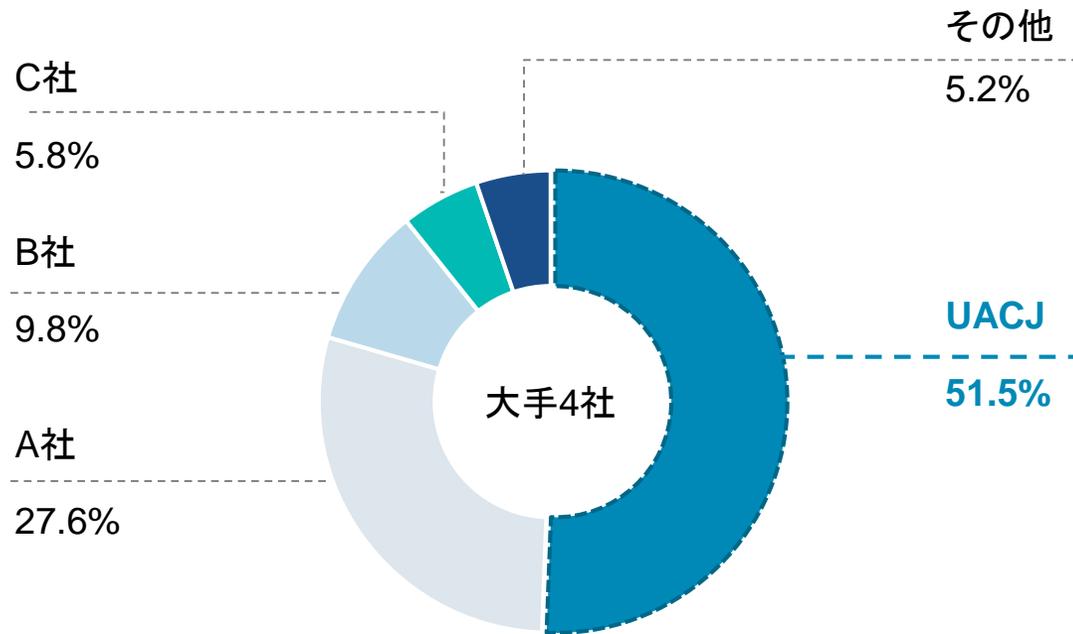
10<sup>th</sup>  
Anniversary

# 国内における圧倒的なマーケットシェアと、世界トップクラスの生産量

## 国内におけるマーケットシェア

FY23時点

アルミニウム圧延品国内生産量比率(%)

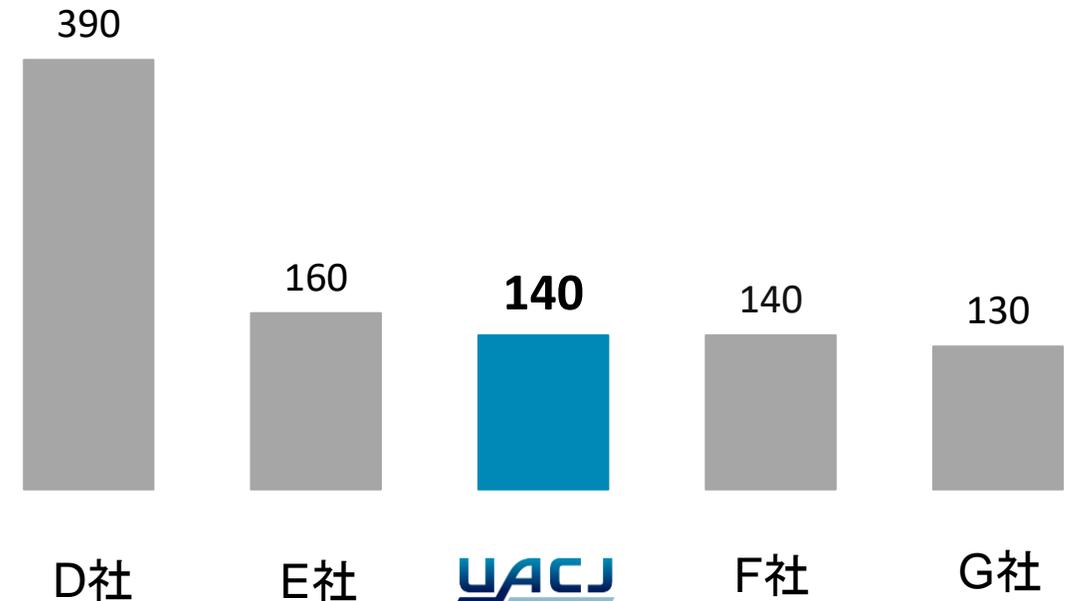


アルミニウム圧延品市場で約5割のシェア。  
国内における圧倒的なマーケットシェアを有しています

## グローバルにおける生産量ランキング

FY22時点

アルミニウムシート・板材グローバル生産量(万トン)



生産量は年間約140万トンに達し  
世界トップクラス的能力を有しています

# UACJの稼ぐ力の向上

様々な改革を断行した結果、国内&海外事業共に稼ぐ水準が一段上昇

## 構造改革の 完遂

- 損益分岐点の引き下げ
- 最適生産体制の構築
- 事業の選択と集中
- 取締役、執行役員の人数削減

## 値決めの 構造改革

- エネルギーサーチャージ制の導入
- 物流費上昇の転嫁スキーム
- 物価高騰、環境対応投資に伴う  
ロールマージンの値上げ

## 海外事業の 収益貢献拡大

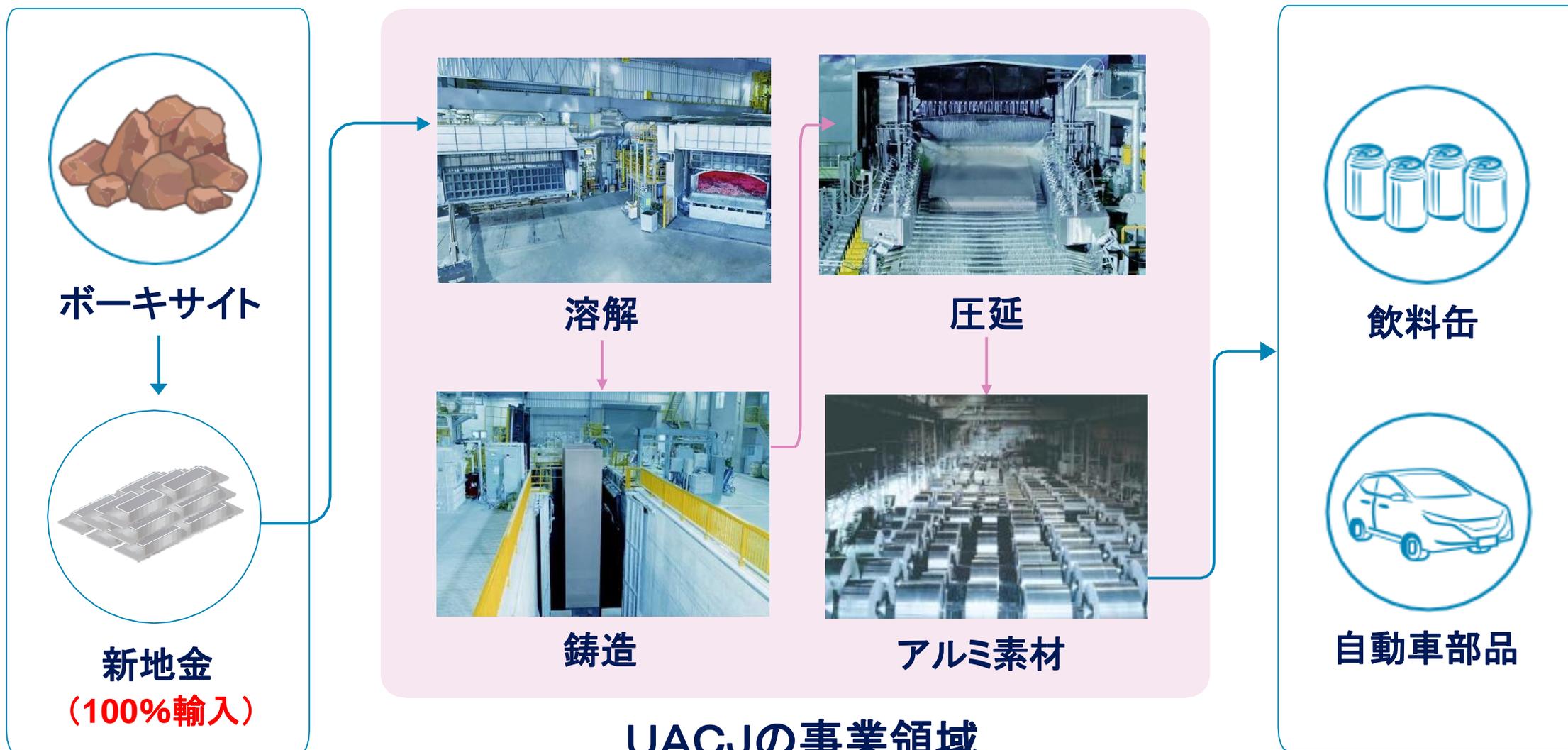
- TAA: 収益大幅拡大
- UATH: 工場立ち上げ、収益拡大
- UWH: 戦略的投資の実施

FY2018~FY2023  
事業利益\*の推移



# UACJのビジネス領域

高度な鋳造・加工技術が強みに、お客様の多様なニーズに対応



UACJの事業領域

# UACJが出荷するアルミの姿

## 板製品

アルミニウムを圧して引き伸ばし、  
ロール状に巻き取って出荷



## 押出・加工製品

アルミニウムを型で押し出す等、  
複雑な形状へ加工した“部品”を出荷



## 鋳鍛製品

叩いたり、型で圧縮して成形した“鍛造品”を出荷



# アルミニウムの特徴



# アルミニウムの活躍分野

## アルミニウムの主な特長



軽い



強い



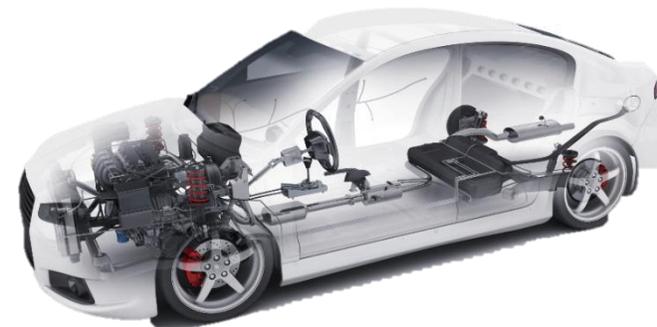
リサイクル性に  
優れる

## アルミニウムの活躍分野

飲料缶



自動車



航空・宇宙



IT機器



# 「リサイクル性に優れる」とは？



## GHG\*排出量

新地金製造時  
(リサイクルしない場合)

100%とすると

97%減少

リサイクルした場合

3%



出所: 日本アルミニウム協会

\*GHG 温室効果ガス、Greenhouse Gasの略称。

# UACJの強み



*Aluminum lightens the world*  
アルミでかなえる、軽やかな世界

# UACJグループが有する主な強み

1

強固な顧客基盤

2

多様なニーズに応える設備と技術力

3

世界3極での生産・販売体制

# 強み 1. 強固な顧客基盤

## 1 長い歴史で培った顧客との信頼関係

- **600社以上の顧客**と強い信頼関係を構築
- 1,000以上の品種(板事業のみ)から、最適な製品を顧客に提供し、**国内での圧倒的なシェアを確保**

## 2 幅広いニーズに応える総合力

- **主要事業間の連携**による総合力で、顧客の生産プロセスを最適化するサービスを継続的に提供



## 強み 2. 多様なニーズに応える設備と技術力

### 1 UACJにしか生産できない製品

- 大規模な生産設備と、  
高品質な製品を安定的に供給可能とする技術力

### 2 技術力の源泉、R&Dセンター

- 基盤技術から製品開発までトータルな研究開発を推進
- 複数の国家プロジェクトへ参画し、  
新たなイノベーションの創出を目指す



# 強み 3. 世界3極での生産・販売体制

## グローバルでの生産体制の確立と、地産地消のローカル戦略を展開



**日本**：強固な顧客基盤、  
事業間の連携による  
多彩な加工力

生産量：約 65万トン/年



名古屋製造所



福井製造所



深谷製造所



**TAA**：旺盛な北米需要を獲得

生産量：約 45万トン/年



**UATH**：東南アジア地域の基幹工場

同地域における唯一のアルミニウム圧延の一貫工場

生産量：約 32万トン/年



# UACJ事業別 売上収益



鑄鍛事業



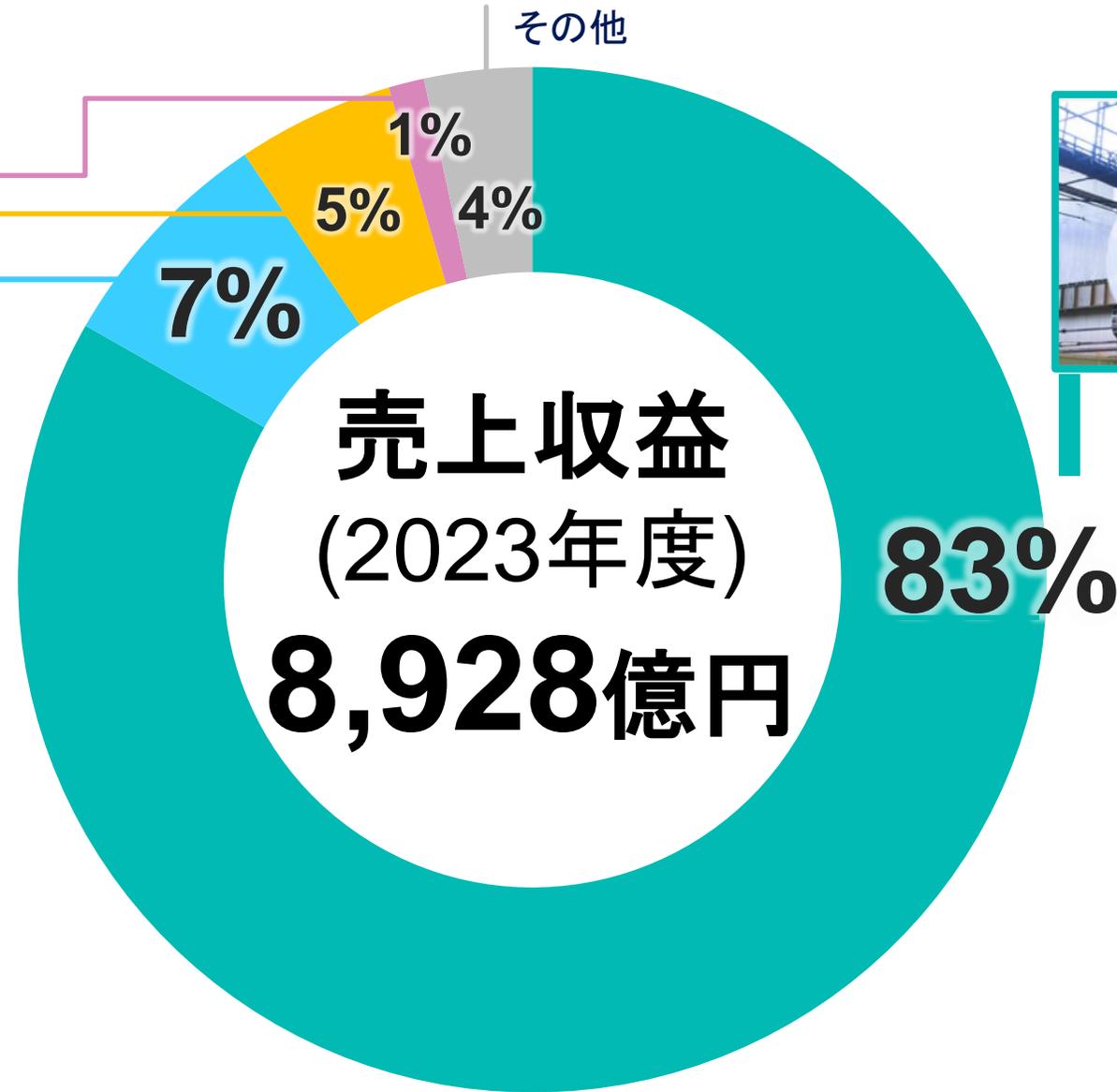
自動車部品事業



押出加工品事業



板事業



# 2030年に向けて

素材提供企業から、「素材+ $\alpha$ 」の付加価値提供企業へ

The logo for UACJ, consisting of the letters 'UACJ' in a bold, blue, sans-serif font. The 'U' and 'A' are connected, and the 'C' and 'J' are also connected. There is a horizontal line underneath the letters.

*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界

# 長期経営ビジョン “UACJ VISION 2030”

## アルミニウムを究めて、サステナブルな社会の実現に貢献



### Backcasting VISION 2030

社会課題の解決  
付加価値の追求

- ・成長分野や成長市場の需要捕捉により、より広く社会の発展に貢献
- ・素材+αで、社会的・経済的な価値の向上に貢献
- ・新規領域への展開により、社会課題の解決に貢献
- ・製品のライフサイクル全体を通じて、環境負荷の軽減に貢献する

#### マテリアリティ

- 「アルミニウムの循環型社会」の牽引 (サークュラーエコノミー)
- 気候変動への対応
- 自然の保全と再生・創出 (ネイチャーポジティブ)
- 人権の尊重
- 多様性と機会均等の浸透 (DE&I)

モビリティ	ライフスタイルヘルスケア	環境・エネルギー
人々の移動・交通に軽やかさを...	日々の暮らしや労働に軽やかさを...	これからの地球環境に軽やかさを...

# 第4次中期経営計画 ～稼ぐ、繋ぐ、軽やかに～

## 素材提供企業から、「素材+α」の付加価値提供企業へ

稼ぐ  
Value

- 「+α」の価値を生み出す  
= 「稼ぐ」企業グループに

繋ぐ  
Connect

- アルミニウムの循環の輪を「繋ぐ」
- 新しいビジネスを「繋ぐ」
- 人と人を「繋ぐ」

軽やかに  
Lightens the World

- UACJグループの「技」と「術」で環境負荷の低減に貢献

# 第4次中期経営計画 ～稼ぐ、繋ぐ、軽やかに～

## 素材提供企業から、「素材+α」の付加価値提供企業へ

1

### 成長戦略・付加価値戦略

価値創出拡大による  
収益の最大化と収益率の向上

2

### 事業の強靭化

筋肉質でしなやかな体質の強化

3

### 基盤の強化

価値創出と安定した  
事業運営を支える基盤の強化

①

### リサイクル推進

⇒リサイクル(缶材料、その他)

②

### 素材+加工ビジネスの拡大

⇒自動車、空調、熱マネジメント

③

### 先端分野のサプライチェーン安定化への貢献

⇒電池、半導体製造装置、航空宇宙・防衛

④

### 新領域の拡大

⇒モビリティ、ライフスタイル・ヘルスケア、  
環境・エネルギー

# リサイクル推進

## ---缶材の成長戦略



# UACJのリサイクルへの取り組み

## カーボンニュートラル挑戦宣言

【Scope1, 2】 (2022年11月公表)

2030年度は30%<sup>\*1</sup>削減を目指す

**2050年はカーボンニュートラルへ挑戦**

【Scope3】 (2023年12月公表)

2030年度はリサイクルの拡大等により

30%削減<sup>\*2</sup>を目指す

2050年はサプライチェーンの様々なパートナーとの協業に取り組み、リサイクル最大化、かつサプライチェーン全体での**CO<sub>2</sub>等のGHG<sup>\*3</sup>排出削減活動を行い、GHG排出最小化を目指す**

\*1 2019年度比・原単位

\*2 2019年度比・原単位、Category1

\*3 温室効果ガス。Greenhouse gasの略

## UACJリサイクル率 達成目標設定

(2023年12月公表)

# 2030年度目標値

# 80%

(2019年度実績値65%)

(UACJリサイクル率定義)

\*純アルミ(1000系、8000系)材を除く

\*対象拠点は国内4製造所、タイ拠点

\*循環アルミ量/溶解炉への装入量 × 100

\*循環アルミ量... 製造業での素材の加工段階で発生するスクラップ+使用済み製品に由来するスクラップ+当社社内の全工程で発生するスクラップ

\*溶解炉への装入量... 循環アルミ量+アルミニウム新地金+添加金属

UACJは、リサイクルを推進することによって

- 1) 低GHG排出資源(アルミスクラップ)の最大活用で低炭素化を推進
- 2) 資源の循環により、地球環境の保全に貢献(ボーキサイトの新規発掘の抑制)

# UACJがアルミ缶リサイクルに取り組む意義

## アルミ缶を取り巻く 市場環境の変化

- ✓ 環境意識の高まり
  - ✓ 人口増、経済成長
- ⇒ますます需要は拡大

**UACJ**

にとっての缶材

- ✓ 主力製品＝**収益の源泉**
- ✓ **3極連携による確実な需要の捕捉**
- ✓ 日本の生産量の半分以上を担う**責任**

販売総量120万トンのうち、

**65%**が缶材

(23年度実績)

**UACJ**

## “リサイクル”への取り組みを成長機会ととらえ、事業活動を展開

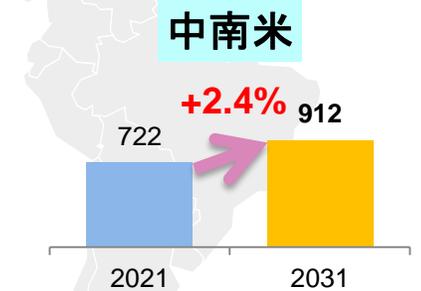
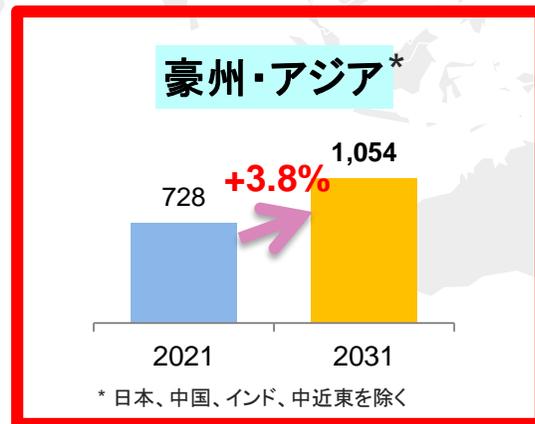
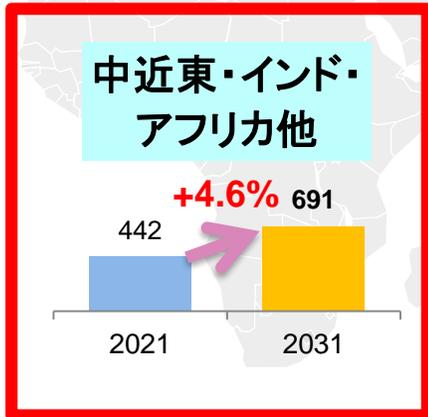
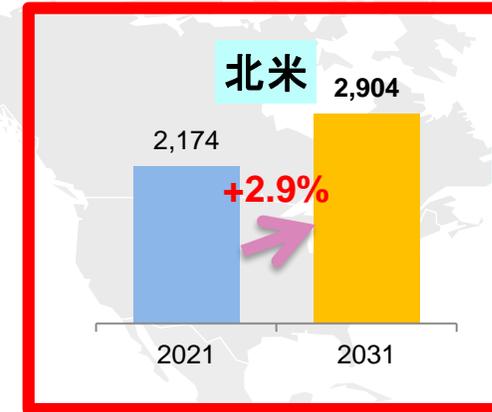
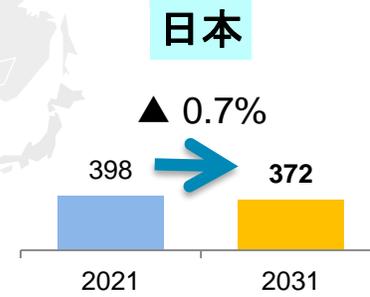
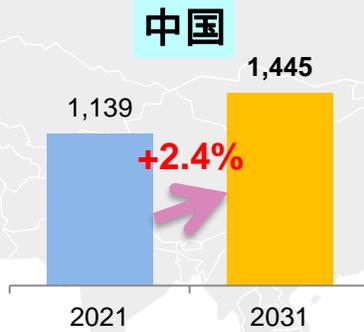
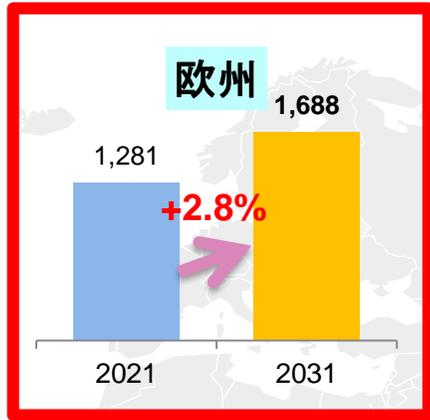
- ✓ リサイクルしやすい素材の新規開発
- ✓ リサイクル関連設備等の立ち上げ
- ✓ お客様と協働し使用済みアルミ材の回収スキームを構築
- ✓ 新たな製品ブランドの構築



# アルミ缶材の需要予測

## 海外各国・地域でアルミ缶材需要が増加

(単位:千トン)  
伸び率はCAGR



## リサイクルの取り組みを強化し、需要を牽引する新たなビジネスモデルを構築

- ✓ リサイクルしやすいアルミ素材の新規開発
- ✓ リサイクル関連設備等の立ち上げ
- ✓ お客様と協働し使用済みアルミ材の回収スキームを構築
- ✓ 新たな製品ブランドの構築

リサイクルアルミ使用量\*

100

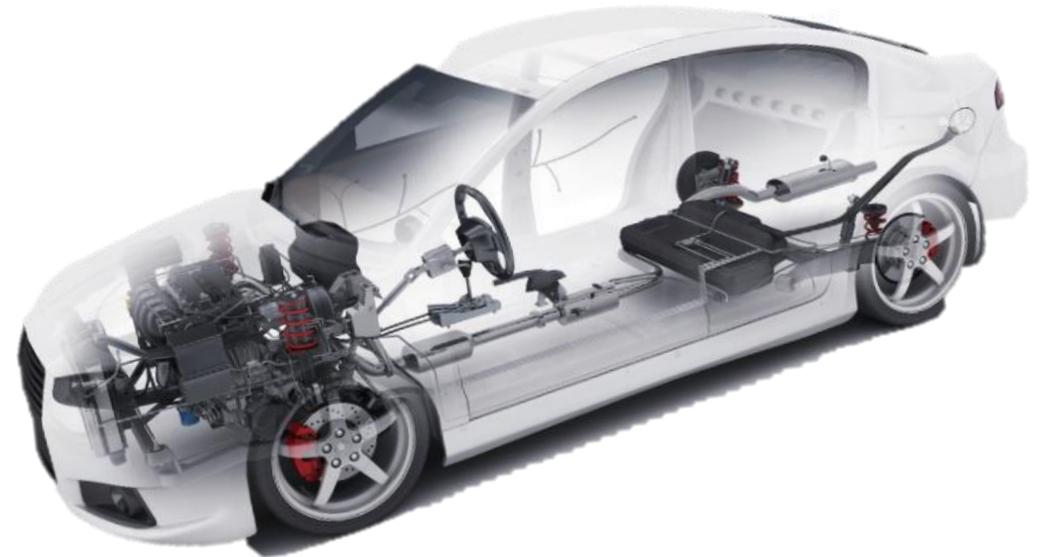
175

リサイクルアルミ 使用量拡大効果イメージ

FY19

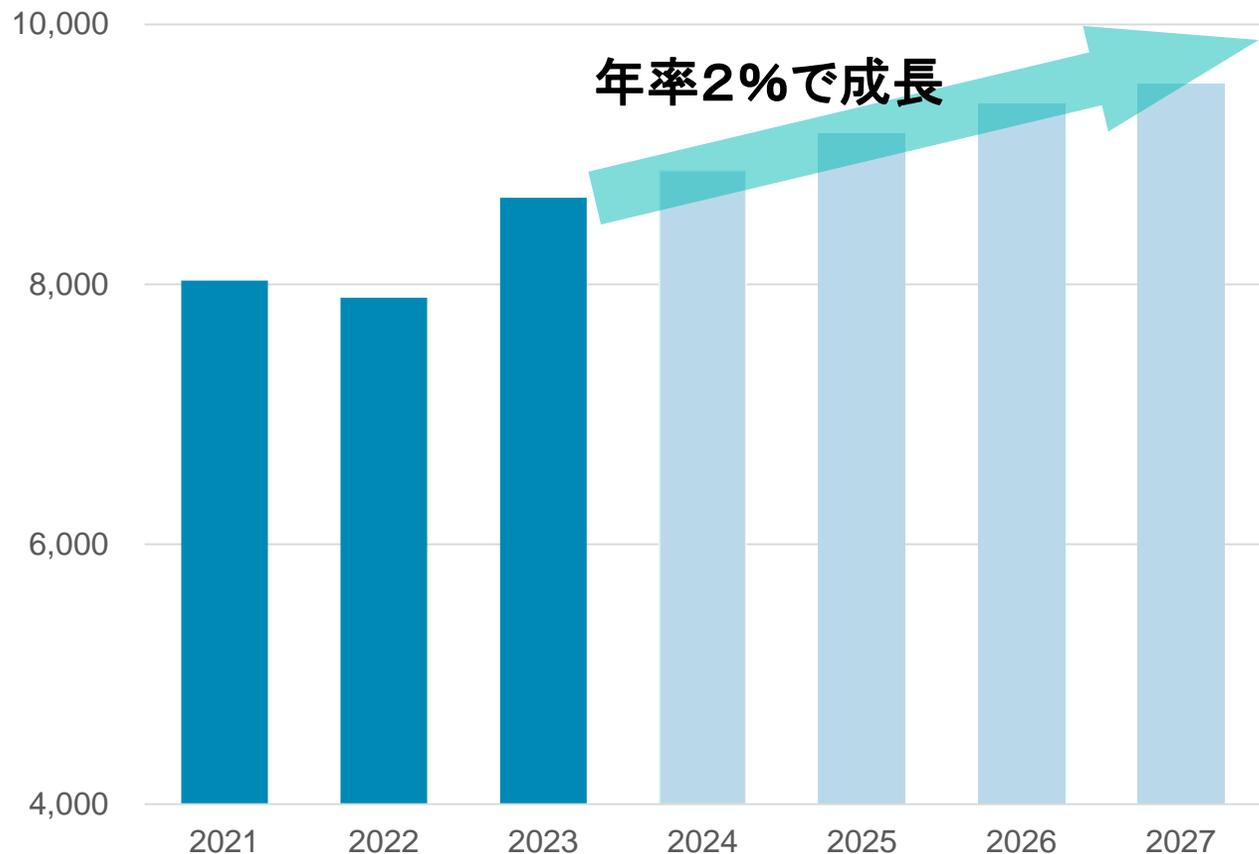
FY27

# 素材+加工ビジネスの拡大 ---自動車部品事業の展開

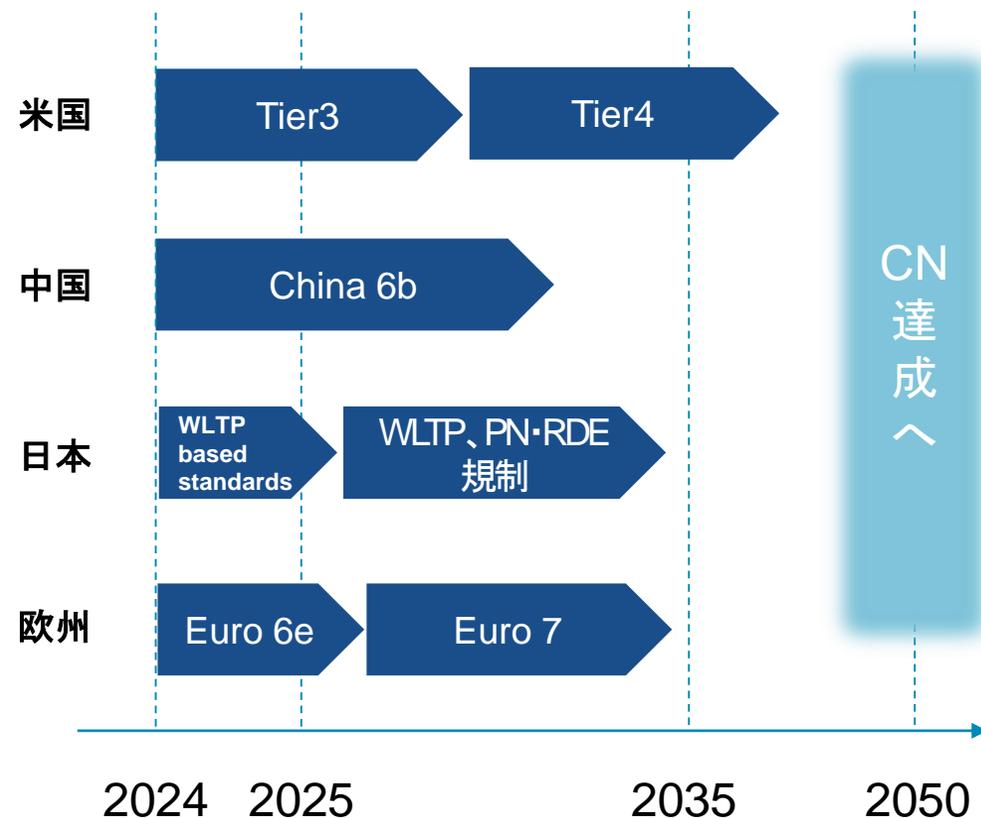


## グローバルでの自動車市場は中長期で成長、脱炭素の要請も強まる

販売台数予測推移(万台)



各国の燃費規制スケジュール



# 成長戦略・付加価値戦略 -- 素材＋加工ビジネスの拡大

合金開発・設計から、加工、販売をグローバルな拠点を連携し、お客様のニーズを捕捉

UACJグループが納める自動車部品

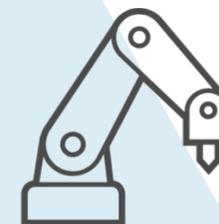


アルミニウムを  
活用すると...

車体の軽量化＝燃費向上・航続距離延伸  
リサイクル促進＝CO<sub>2</sub>排出量の削減

⇒環境負荷の低減に貢献

モビリティ・テクノロジー・  
センター  
(研究開発:名古屋)



UWH  
(製販:アメリカ)

DUB  
(製販:中国)

# 先端分野のサプライチェーン安定化への貢献

## ---航空宇宙・防衛材事業本部の設置



# 航空宇宙・防衛材事業本部の設置

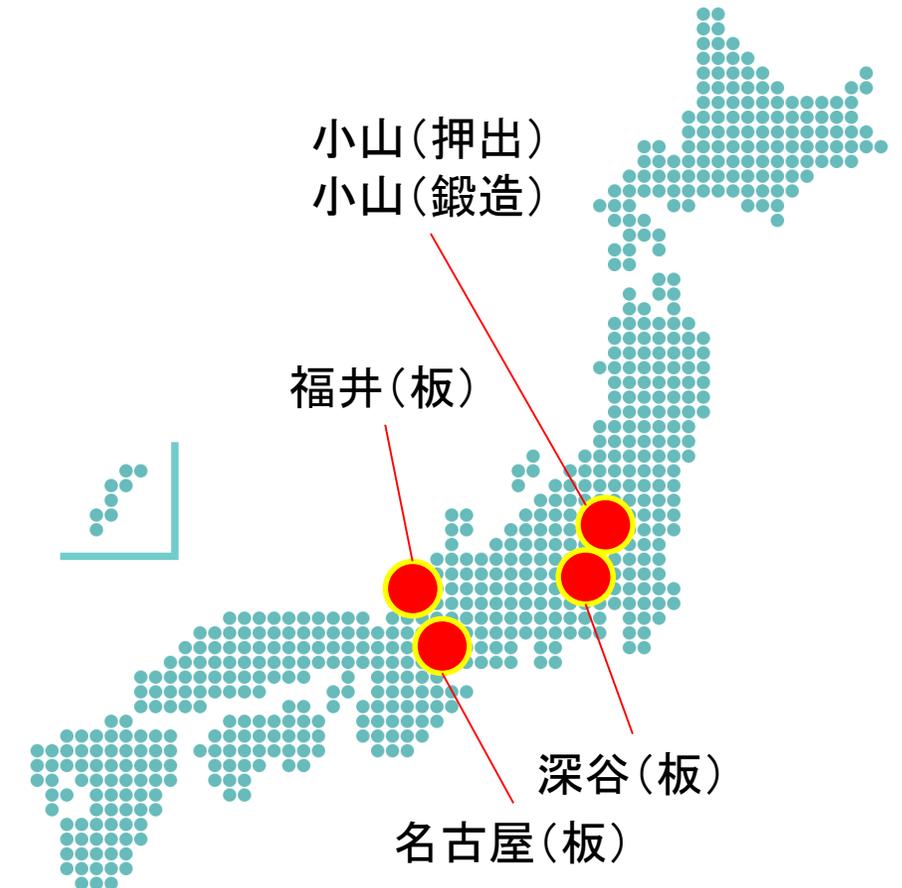
グループ内に点在する航空宇宙防衛関連ビジネスを

One Stopでお客様へ提供すべく、

鑄鍛事業をベースに組織を変更

- 宇宙空間利用・宇宙開発事業への積極参画
- 経済安全保障強化に沿った  
先端分野のサプライチェーン安定化
- 民間航空機国内製造の再開  
など、国家レベルでの動きを  
新たな需要分野・成長分野と位置付ける

国内の主な製造拠点 (2024年10月1日～)



# 「アルミニウムの循環型社会」の構築と 事業運営を支える基盤の強化



# UACJグループがリサイクルで貢献する社会課題の解決

## アルミニウムのリサイクルで 社会課題を解決

- 域内の資源循環によるサプライチェーン強靱化
- 製品ライフサイクルを通じたCO<sub>2</sub>排出量の削減
- 新地金の使用量低減によってボーキサイトの新規採掘を抑制

サプライチェーン全体との連携  
(UACJの活躍範囲の拡大)

アルミ素材による環境負荷低減  
(環境価値の付与)

## サプライチェーン全体を巻き込んでビジネスモデルの変革を目指す

パートナーシップの  
強化

知的資本の  
最大活用

環境への投資

スクラップ回収  
ルートの構築

産学官の連携強化

ブランド力の強化

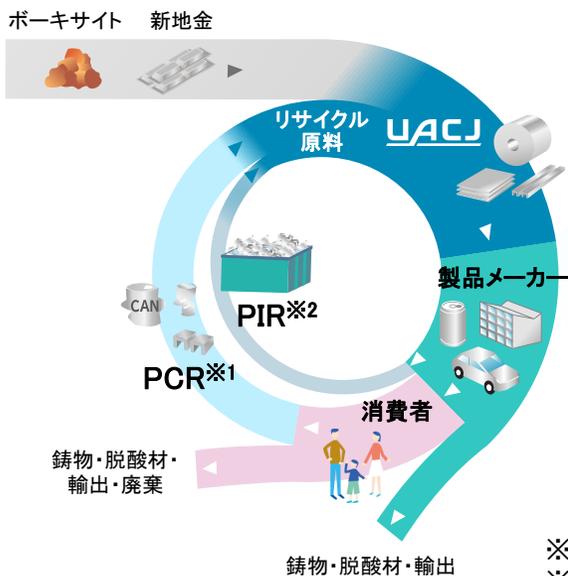
技術開発

# UACJが目指す、アルミが循環し続ける社会

## 「アルミニウムの循環型社会」の構築を牽引

サプライチェーン全体を巻き込んだ  
ビジネスモデルの変革を目指す

### 従来の姿



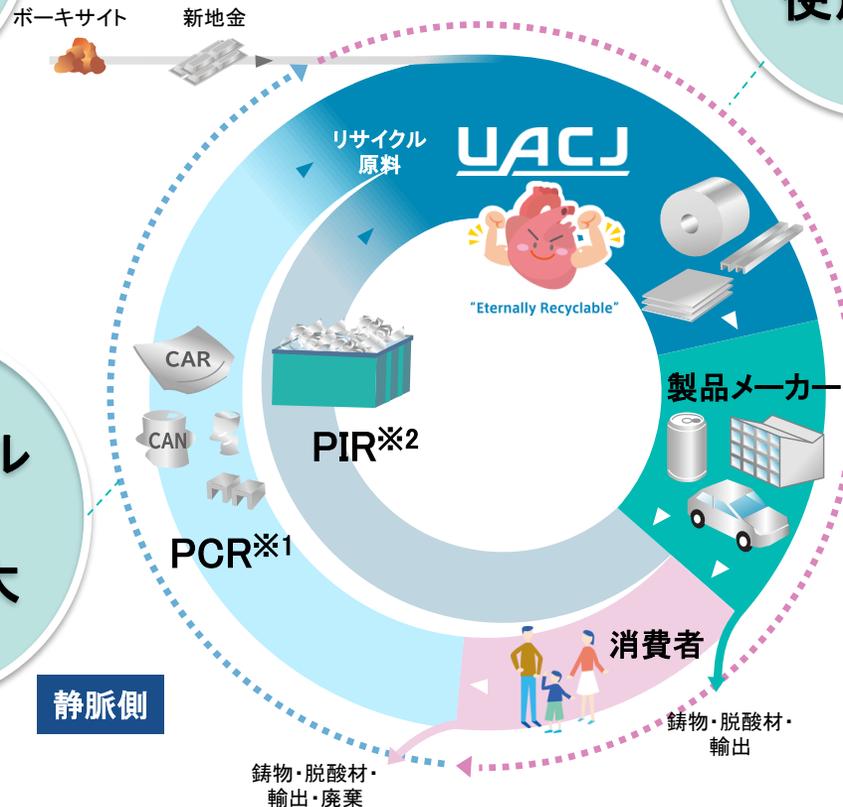
- ・リサイクル率向上
- ・アルミニウム用途拡大

リサイクル  
アルミ  
市場拡大

### 目指す姿

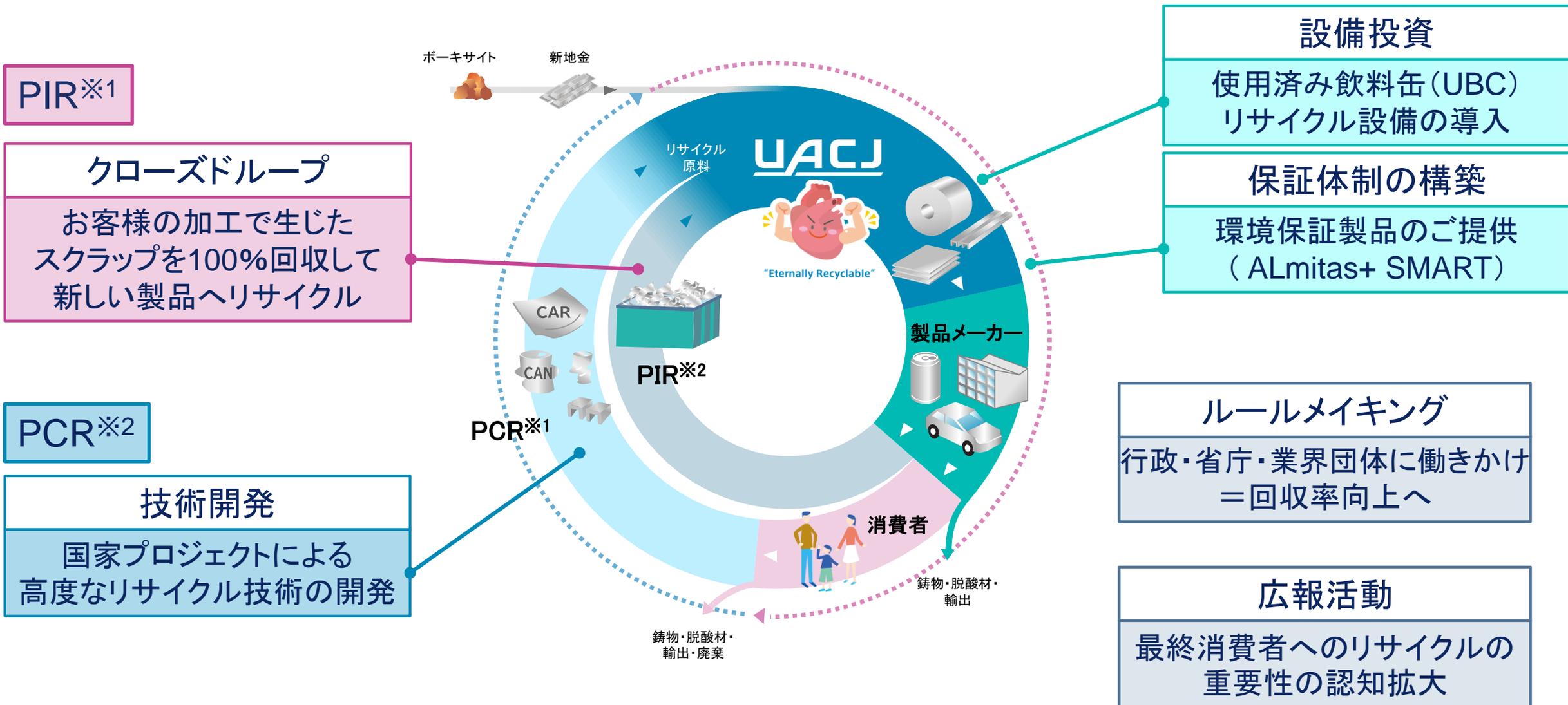
新地金  
大幅削減

リサイクル  
アルミ  
使用増加



※1 PCR: Post-Consumer Recycled。使用済製品に由来するスクラップ  
※2 PIR: Post-Industrial Recycled。製造業での素材の加工段階で発生するスクラップ

# 素材供給と資源循環を繋ぐ、強固なサプライチェーンの構築



PIR※1

**クローズドループ**  
お客様の加工で生じたスクラップを100%回収して新しい製品へリサイクル

PCR※2

**技術開発**  
国家プロジェクトによる高度なリサイクル技術の開発

**設備投資**  
使用済み飲料缶(UBC)リサイクル設備の導入

**保証体制の構築**  
環境保証製品のご提供 (ALmitas+ SMART)

**ルールメイキング**  
行政・省庁・業界団体に働きかけ = 回収率向上へ

**広報活動**  
最終消費者へのリサイクルの重要性の認知拡大

※1 PIR: Post-Industrial Recycled。製造業での素材の加工段階で発生するスクラップ  
 ※2 PCR: Post-Consumer Recycled。使用済製品に由来するスクラップ

## 高度なりサイクル技術の開発で“循環できるアルミ”を増やし、環境負荷の低減へ

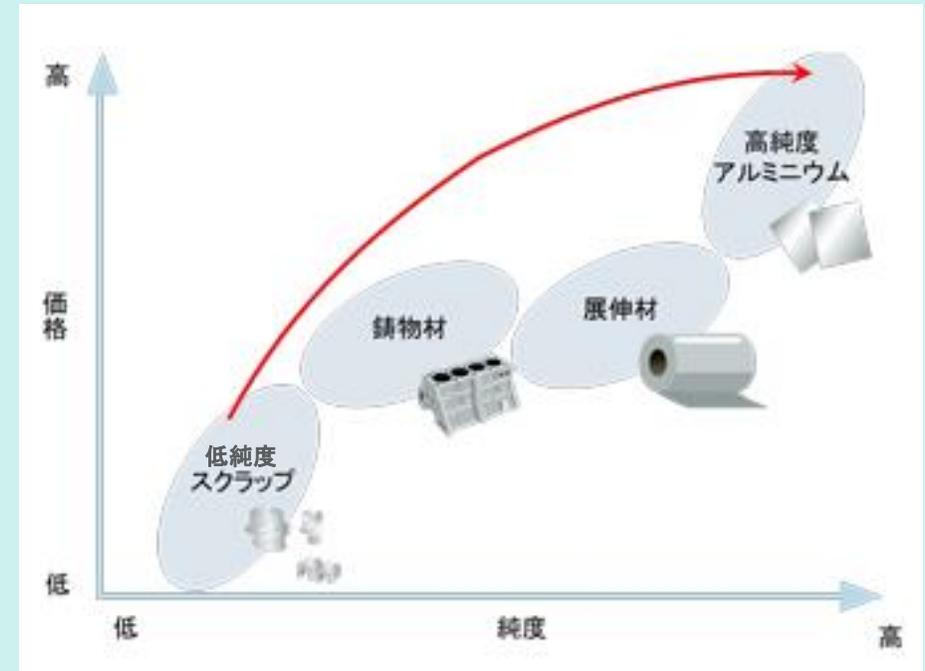
### 高度資源循環システム(アップグレードリサイクル)構築事業



縦型高速双ロール鋳造実験機 (R&Dセンター：名古屋)

- ✓ 不純物元素の低減技術、微量不純物を無害化する高度加工技術を開発
- ✓ **スクラップを活用し、年間20万トン規模の製造能力拡張**

### 低温型電解法によるアルミニウムの高純度化プロセス (ハイアップグレードリサイクル) 研究開発への参画

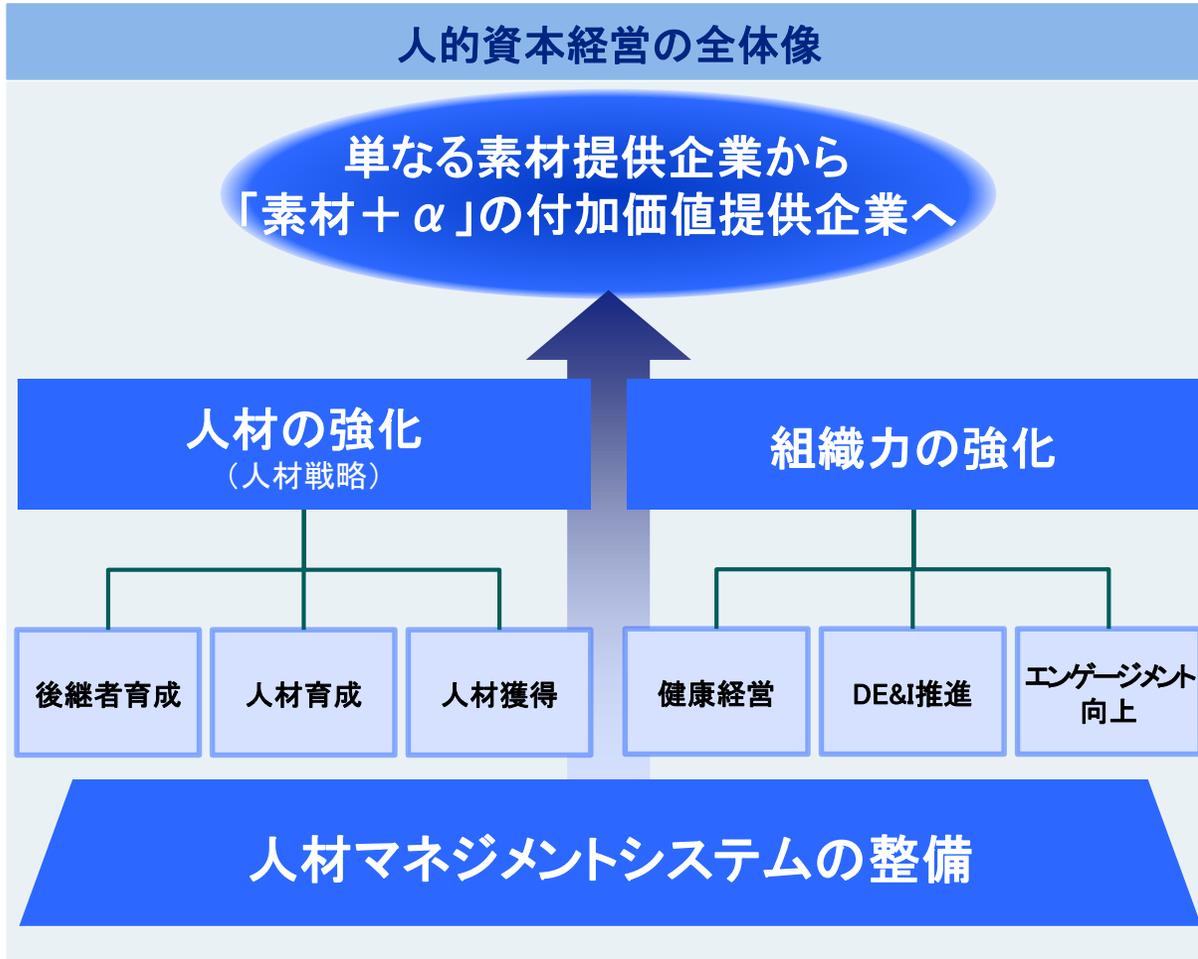


リサイクルのイメージ図

- ✓ これまで廃棄されていた低純度アルミスクラップを、**新地金相当の純度以上(99.9%)のアルミニウムへリサイクル可能**とする技術 (ハイアップグレードリサイクル) を、社会実装するため、量産性を検証

# 人的資本経営への取り組み

人材マネジメントシステムの整備を通じて、人材と組織力の強化を目指す



# UACJのガバナンス強化の取り組み



## 【取締役会】

- ・取締役会機能も定点観測
- ・取締役会メンバーによるフリーディスカッション

2016～ 取締役会の実効性評価

第三者評価

第三者評価

2024～ オフサイトミーティング

## 【役員報酬】

- ・経営執行側の企業価値・株式価値向上の意識を増進
- ・株主還元、マテリアリティ取り組み等 役員報酬制度を進化

2018～ 業績連動報酬（含む株式報酬）

TSR指標導入

非財務指標導入

## 【役員人事】

- ・社長、役員の後継人材をプールし、経験・知見を広げる（人的資本の充実）
- ・取締役会運営に必要なスキル・該当者を定義し、より有効的な取締役会運営を実現
- ・社外取締役の相互評価を実施し、期待される役割・責務を果たしているかを評価

2020～ サクセッションプラン

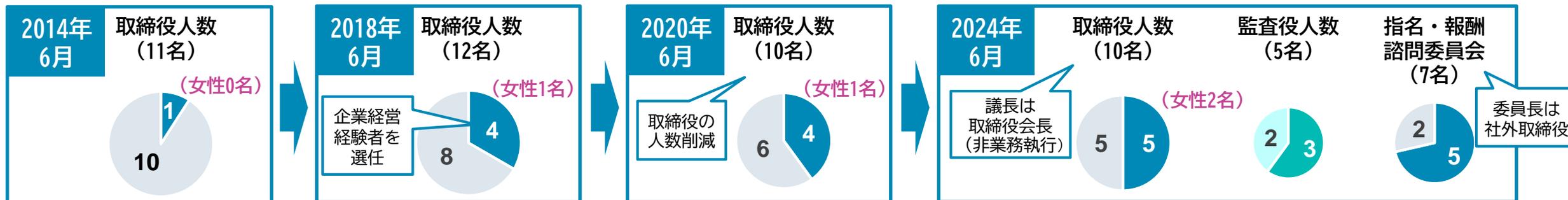
社長

社外役員

2022～ スキルマトリックス

2023～ 社外取締役相互評価

## 【取締役会等の構成】

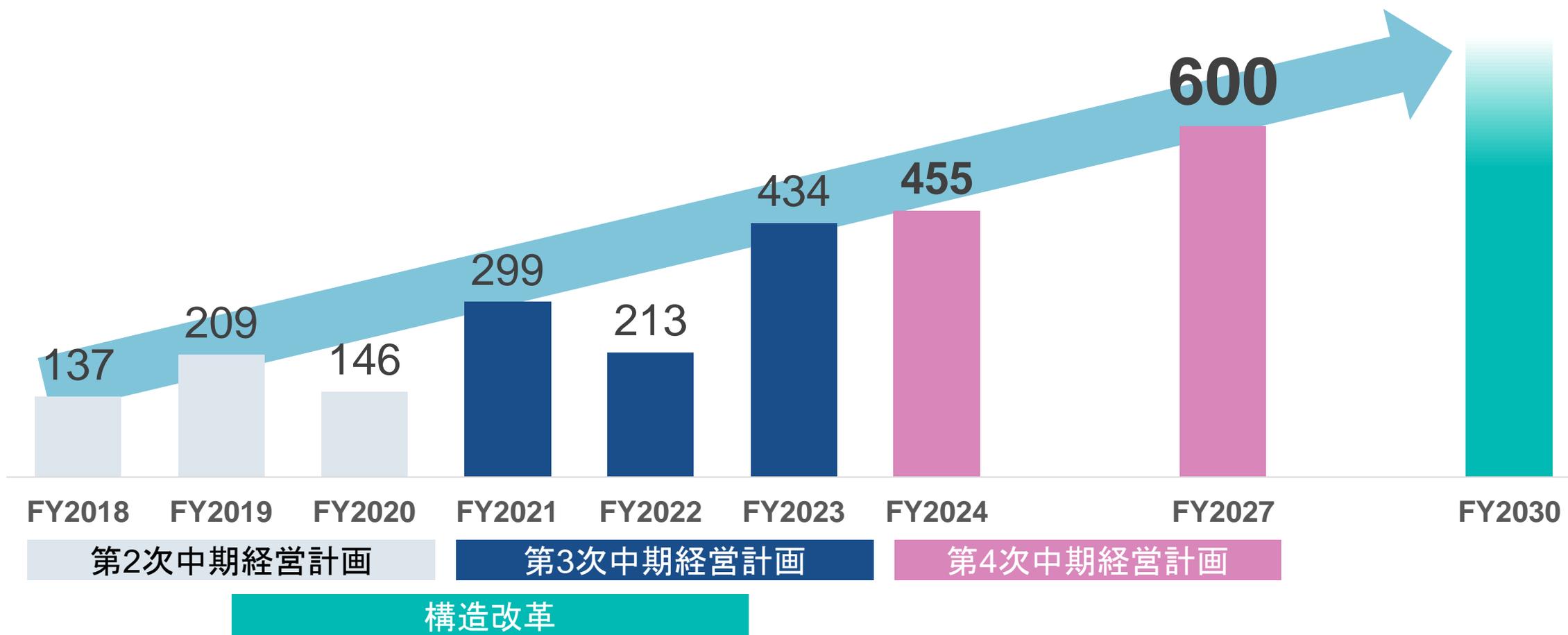


# 今後の事業利益 推移

## 事業利益

(億円)

持続的な事業活動の成果  
営業利益から、アルミ地金の棚卸資産による影響等を控除したもの

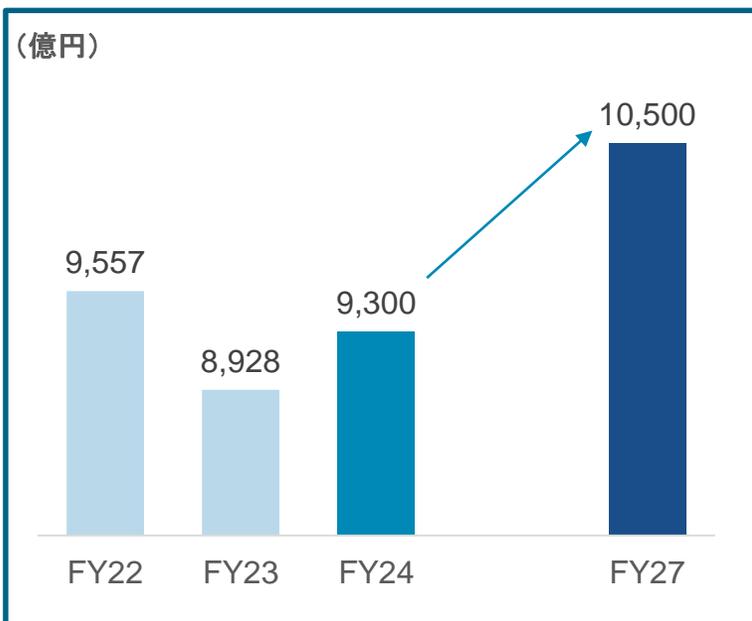


# 第4次中期経営計画 財務目標

27年度で 事業利益600億円、ROE 9%、ROIC<sup>\*1</sup> 9%以上を目指す

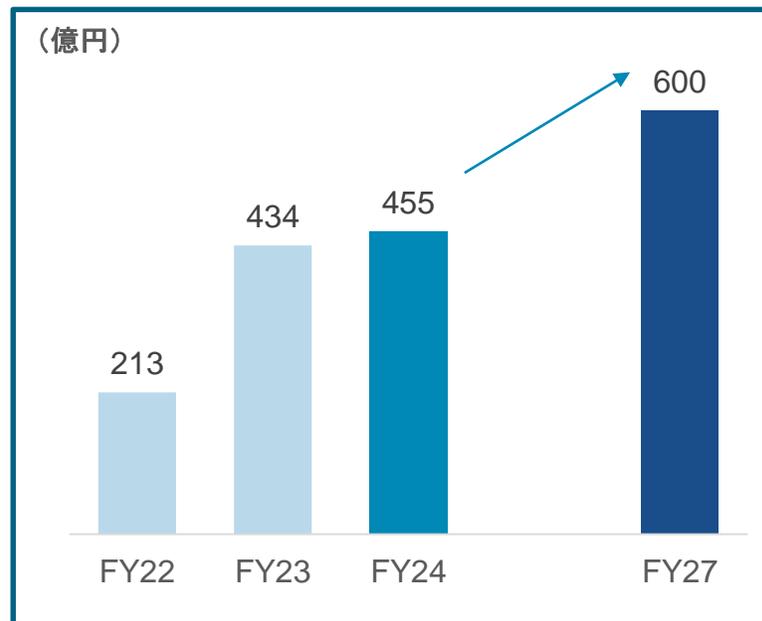
## 売上高

# 10,500

億円

## 事業利益

# 600

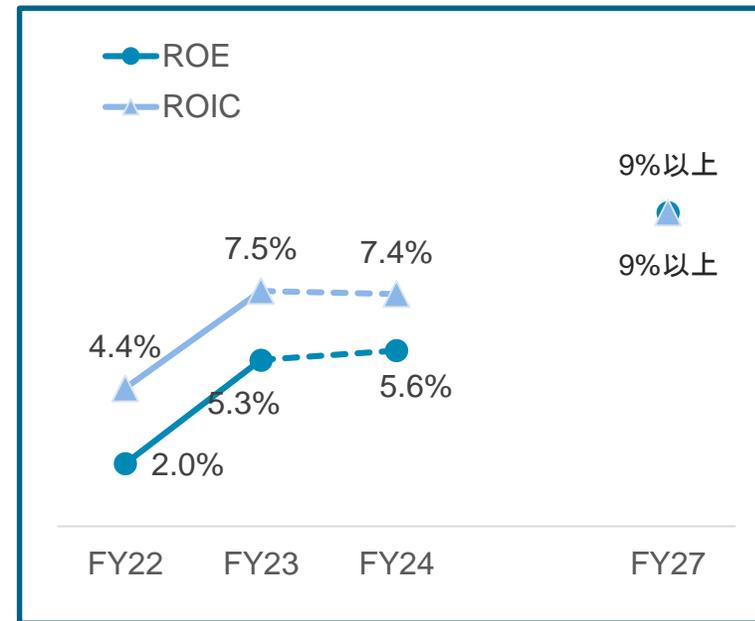
億円

## ROE

# 9%以上

## ROIC

# 9%以上



\*1 ROIC：事業利益を基に算出

\*2 事業利益...UACJの「稼ぐ力」を示す指標。営業利益から棚卸資産影響等、一時的な損益を除いたもの

# 第4次中期経営計画 財務戦略

財務基盤強化、資本効率改善および企業価値向上を実現する財務資源を配分

## 財務戦略指標

収益力	事業利益 <b>600億円</b>	資本効率	ROIC <b>9%</b>
財務基盤	D/Eレシオ <b>1.0倍未満</b>	成長投資	<b>780億円</b> (1600億円に含む)
資本コスト	<b>7%台</b>	株主還元	配当性向 <b>30%以上</b>

企業価値の向上 : **PBR1.0倍以上の実現**

## 生み出したキャッシュの使い道



# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

## 株式価値最大化に向けて (第4次中計にて公表)

### ROEの改善 (目標9%以上)

- 事業利益目標：600億円
- ROIC目標：9%以上
- 価値創造プロセス見直し
- 事業戦略の策定
- 成長シナリオの構築

### 資本コスト低減 (目標7%台) 期待成長率の引き上げ

- 最適資本構成の実現
- 配当性向30%以上
- サステナブルな事業戦略の策定
- 非財務分野での価値創出
- 情報開示、エンゲージメント強化

### エクイティ・スプレッド

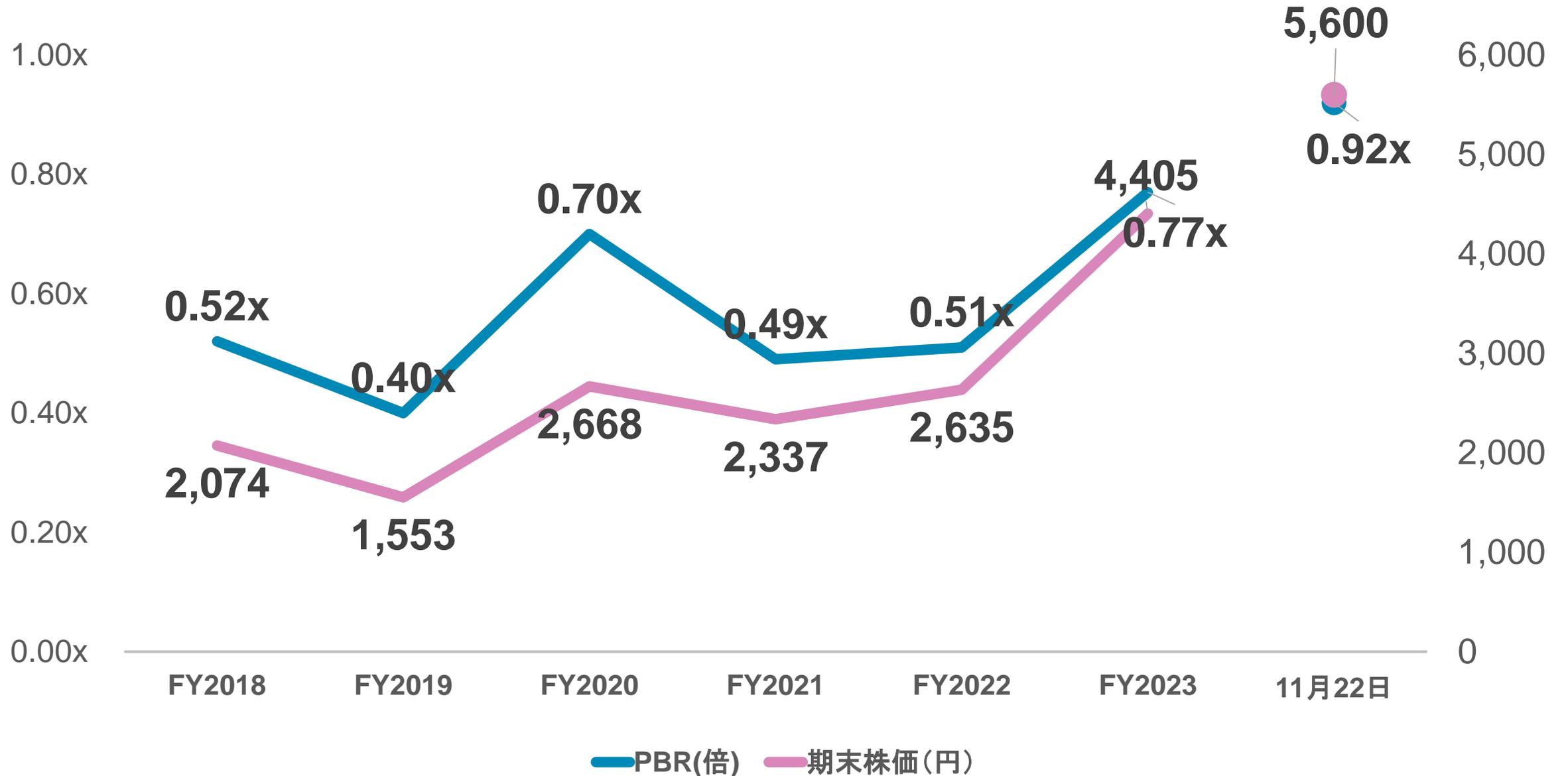
早期に  
1%以上に

株式価値最大化  
(PBR1.0倍以上)

### PBRの推移



# 株価推移(2019年3月～2024年3月)



11月7日(木)に上期業績を発表、グローバルな缶材需要の拡大で好調な決算

売上収益

4,871億円

事業利益\*1

300億円

営業利益

357億円

最終利益\*2

167億円

\*1 事業利益

持続的な事業活動の成果。営業利益から、アルミ地金の棚卸資産による影響等を控除したもの

\*2 最終利益

親会社の所有者に帰属する当期利益

## 通期業績見通しの達成に向けて、順調に進捗

売上収益

9,300億円

事業利益\*1

455億円

営業利益

465億円

最終利益\*2

205億円

\*1 事業利益

持続的な事業活動の成果。営業利益から、アルミ地金の棚卸資産による影響等を控除したもの

\*2 最終利益

親会社の所有者に帰属する当期利益

# 配当政策

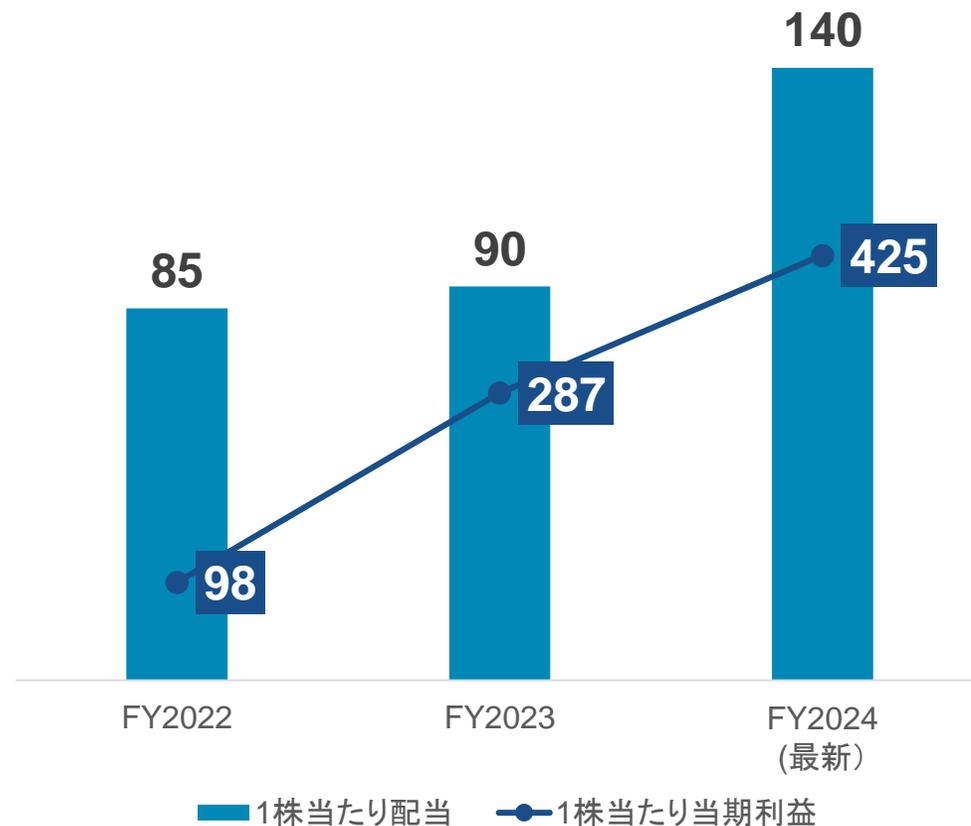
年間配当金を140円/株に増配(8月6日公表)。中間・期末の年2回配当を実施予定

## 第4次中期経営計画期間 還元方針

安定的かつ継続的な配当を目指す  
配当性向 最終利益\*30%以上

	2023年度		2024年度	
最終利益	139億円		205億円	
年間配当	90円		140円	
配当性向	31.3%		32.9%	
内訳	中間	期末	中間	期末
	45円	45円	70円	70円

1株当たり配当(円)/1株当たり当期純利益(円)



UACJは、軽量化効果やリサイクル特性を活かし、社会課題の解決に貢献していきます

アルミとあしたへ



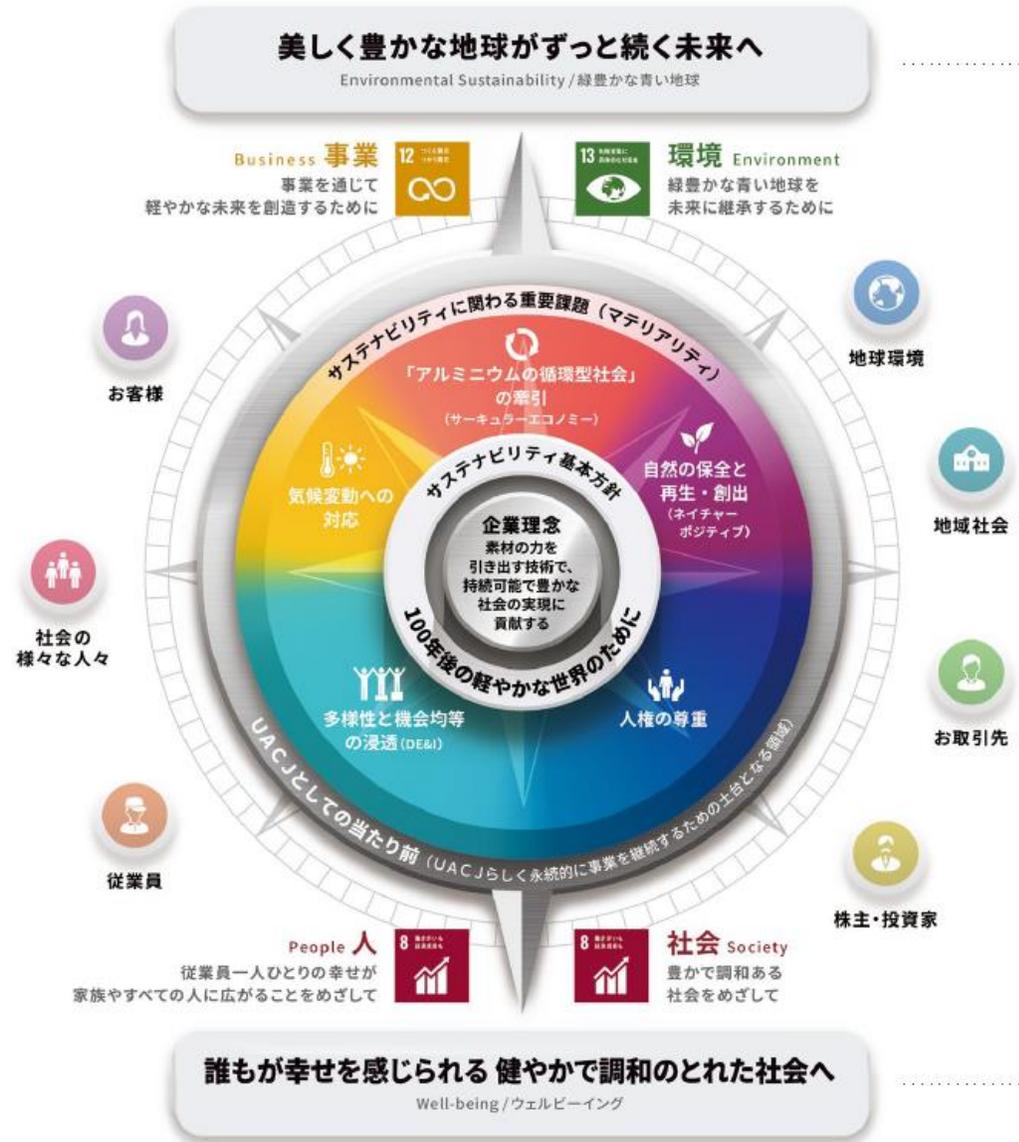
# 補足資料



*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界

# 100年後の軽やかな世界のために ～軽やかな世界へ導く羅針盤～



## 美しく豊かな地球がずっと続く未来へ

緑豊かな青い地球に感謝し、  
アルミニウムをさらに究めて、  
持続可能な社会形成に貢献して参ります



マテリアリティ

**「アルミニウムの循環型社会」の牽引**  
(サーキュラーエコノミー)

**気候変動への対応**

**自然の保全と再生・創出**  
(ネイチャーポジティブ)

## 誰かが幸せを感じられる 健やかで調和のとれた社会へ

一人ひとりが健康で幸せを感じられるような、  
そしてそれがすべての人に広がっていくような  
社会形成に貢献して参ります



マテリアリティ

**人権の尊重**

**多様性と機会均等の浸透 (DE&I)**

# 脱炭素社会の実現に向けた動向

## 「2050年カーボンニュートラル」宣言（2020年10月）

日本

2030年度  $\Delta 46\%$  ※2019年度比  
2050年度 ネットゼロ達成

- 温暖化への対応は、制約・コストではなく、「成長の機会」である
- グリーン成長戦略を推進し、企業の前向きな挑戦を後押しする
- 2050年カーボンニュートラルだけでなく、CO<sub>2</sub>排出削減にとどまらない「国民生活のメリット」も実現する

世界

## 120以上の国と地域で「2050年カーボンニュートラル」を掲げる



中期目標  
2030年  $\Delta 50\sim 52\%$   
※2005年比

- クリーンエネルギー設備や製品への支援拡充
- エネルギー研究の加速
- 等



中期目標  
2030年  $\Delta 68\%$   
※1990年比

- 2030年までに25万人のグリーン雇用創出（Ten Point Plan）
- 洋上風力発電等、多様なエネルギー源からの調達目指す
- 等



中期目標  
2030年  $\Delta 65\%$ 超  
※2005年比  
※GDPあたりCO<sub>2</sub>排出量で

- 「カーボンピークアウトに向けた行動方策」を発表
- 経済社会発展にかかるすべてのプロセスや分野を横断し、具体策と目標を設定
- 等

# 当社を取り巻く市場環境と事業機会

## 当社を取り巻く市場環境

### アルミニウム(資源)

- 使用分野・領域の広がりに加え、環境意識の高まりにより、年率3%以上でグローバルの需要が増加

### 飲料缶

- 欧米では、環境意識の高まりにより、新興国では人口増・経済の好循環で需要が増加

### 自動車

- 車体の軽量化ニーズに加え、環境対応ニーズが拡大
- EVや自動運転によるアルミ板、押出材需要の増加

### リチウムイオン電池

- EV化にともなう電池領域での需要の増加

### 熱マネジメント

- 新興国、欧州での空調需要の増加に加え、EV車載用途でニーズ拡大

### 航空宇宙防衛

- 高品質な製品サービスの国産化ニーズの拡大

### 半導体

- 半導体関連の需要増に加え、産業の国内回帰による設備投資が活性化

## 当社にとっての事業機会(素材+α)

### 缶材、自動車関連等の既存分野の拡大

- 消費者の環境意識の高まりによる、世界的な缶材需要の拡大
- 軽量化ニーズの拡大

### アルミニウム循環型社会の拡大

- 需要が高まるアルミ缶材を中心としたリサイクルの更なる高まり
- 自動車関連分野を始めとする他の分野におけるリサイクルの高まり

### 付加価値素材、製品供給の推進

- 自動車の軽量化(EV、ハイブリッド等)の拡大
- 航空宇宙・防衛分野での高機能材料採用の高まり(航空宇宙・防衛材事業本部の設置)
- 熱マネジメント分野、半導体分野での需要の拡大

# アルミ板事業 品種別販売数量

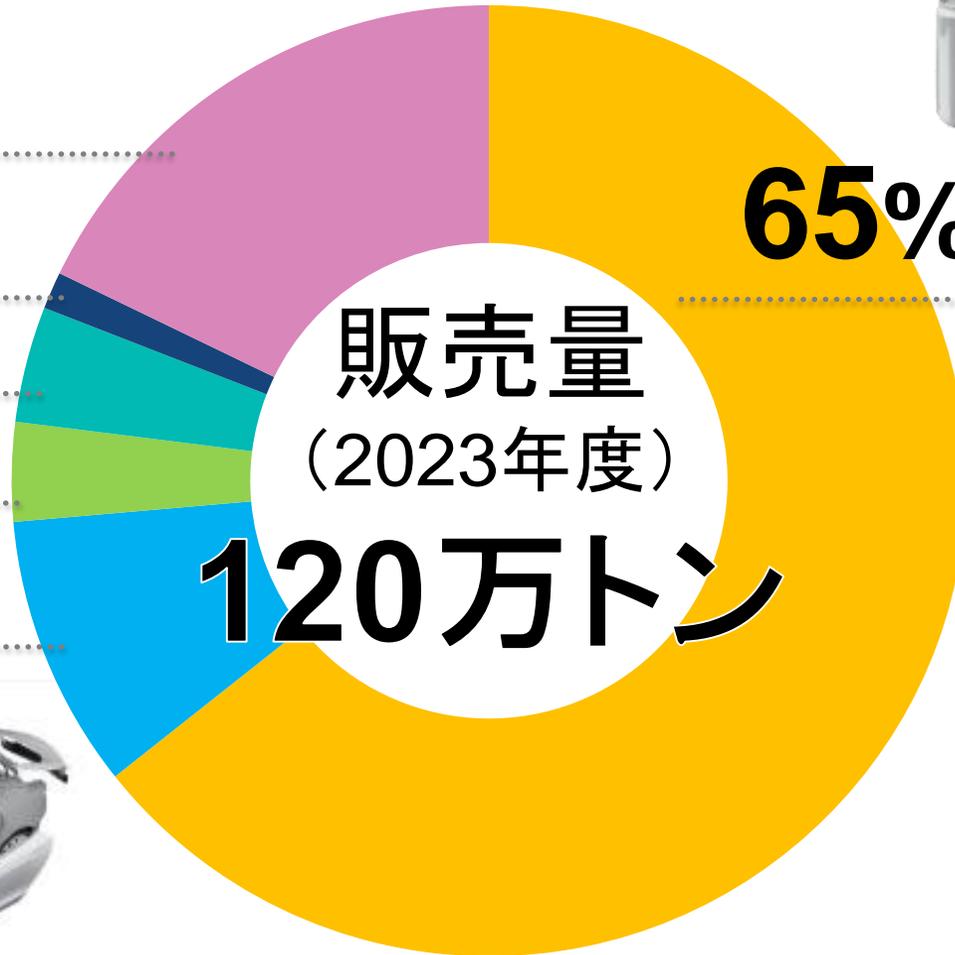
その他 18%

IT材 1%

厚板 4%

箔地 3%

自動車材 9%



65% 缶材



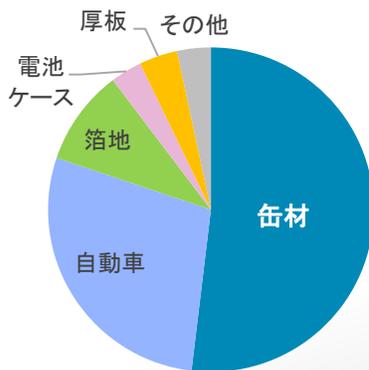
# 国内3製造所、UATH、TAAの強み

## 強固な顧客基盤、ニーズに合わせた製品設計力、生産能力を生かした事業展開

### 福井製造所

缶材・自動車材を中心に  
圧倒的な競争力で、品質・  
納期・サービスを提供する

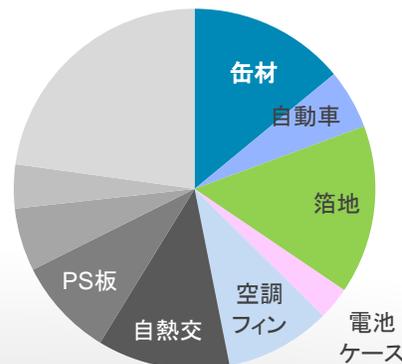
2023年度 30万トン/年



### 名古屋製造所

多品種・多用途への  
対応力で、お客様の  
新たな価値創造に貢献  
新分野開拓に注力

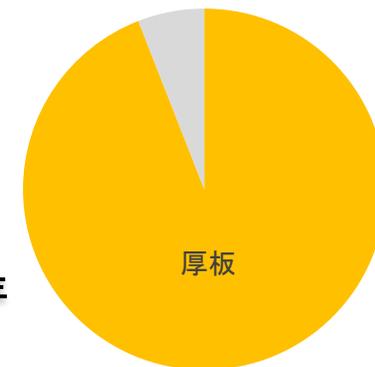
2023年度 27万トン/年



### 深谷製造所

先進の技術で厚板の  
付加価値を創造  
半導体需要増加に対応

2023年度 5万トン/年

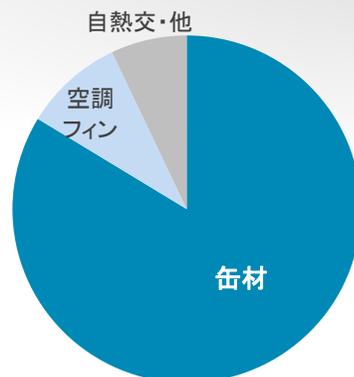


## 各拠点の特色を生かした供給体制

### UATH

缶材に加え、空調材、  
自動車熱交材他の  
グローバル供給拠点

2023年度 34万トン/年



### TAA

缶材中心の米国拠点  
成長する缶材需要を捕捉

2023年度 49万トン/年



“世界No.1の総合アルミ板事業”を目指して

# 世界No.1の総合アルミ板事業

付加価値の創出

研究・商品開発力

環境負荷低減

多様な生產品種

幅広い販売地域

三極体制

幅広い品種×地域をカバーする総合力



他事業とのシナジー創出する総合力

顧客基盤

生産技術・ものづくり

品質

アルミ特性

UACJウェイ

信頼・歴史

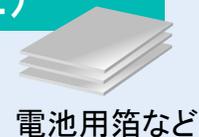
多様性

# 未来に向けた技術開発:アップグレードリサイクル(イメージ図)

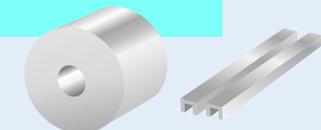
純度高

UACJの  
製品の領域

高純度展伸材用アルミニウム  
(純度99.7%以上)



展伸材※用アルミニウム



缶材、自動車ボディ材など  
一般的な展伸材

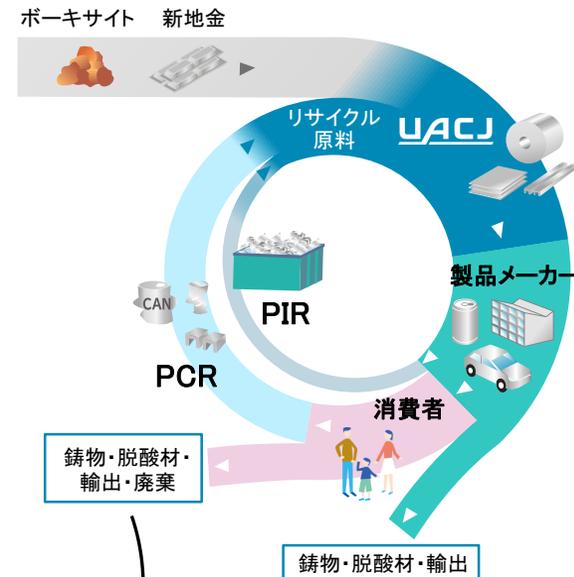
アップグレード  
リサイクル  
⇒縦型高速双ロール鋳造\*1  
不純物元素除去 等

ハイアップグレード  
リサイクル  
⇒低温型電解法による  
アルミニウムの高純度化\*2

鋳物・ダイカスト※用アルミニウム  
(自動車のエンジンプロックなど)

廃棄物

純度低



※ 展伸材および鋳物・ダイカストについて

- ・展伸材は、板材・押出材・鍛造材・箔材などの形状のもので、缶や自動車、空調、IT機器、航空宇宙分野などで使用されるアルミ材。
- ・鋳物やダイカストは、溶かしたアルミニウムを型に流し込み固める製造法で作られたもので、自動車のエンジンプロックなどに使用されるアルミ材。
- ・UACJグループでは、主に展伸材を製造している。

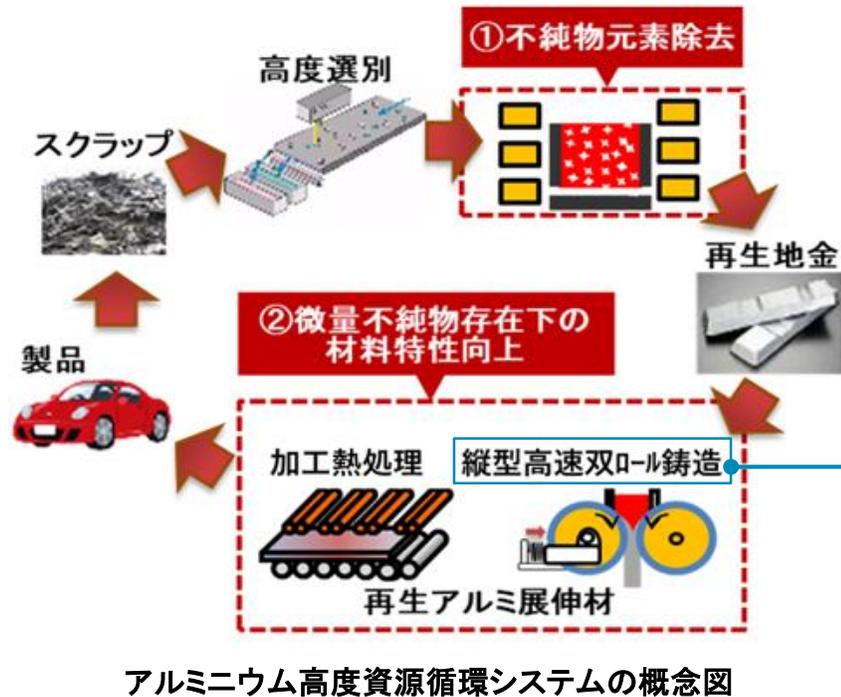
\*1「アルミニウムのサーキュラーエコノミー実現に向け、アップグレードリサイクル量産技術の確立へ前進」(2024年9月11日ニュースリリース) <https://www.uacj.co.jp/release/20240911.htm>

\*2「NEDO先導研究プログラム採択、低純度スクラップから高純度アルミニウムへのリサイクルの実現へ」(2024年8月23日ニュースリリース) <https://www.uacj.co.jp/release/20240823.htm>

# アップグレードリサイクルの技術開発の実例（2024年9月11日ニュースリリース）

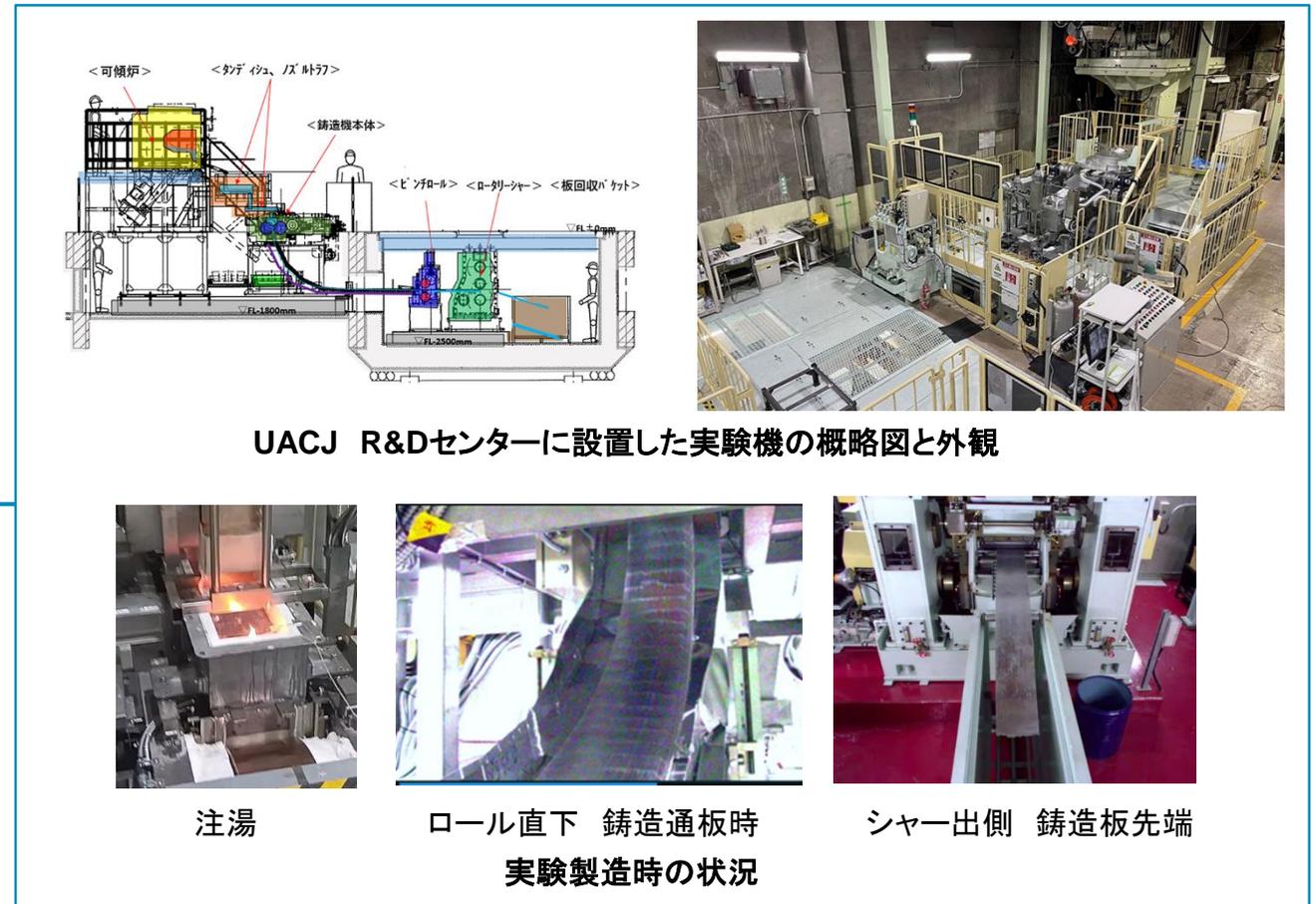
## 縦型高速双ロール鋳造実験機（NEDO助成事業）

- 世界に先駆けて実用化を目指した実験機を2024年9月にR&Dセンター（名古屋製造所内）に設置し**実験製造を開始**
- この実験機は、**板材を0.5-1.3m/秒の高速で鋳造可能**
- 2030年代には板幅2,000mm程度の実機の導入（**年間20万トン程度**の高い製造能力に相当）し、アルミ資源の展伸材による循環、大幅なCO<sub>2</sub>削減達成を目指す



### ※ 縦型高速双ロール鋳造

溶湯から直接薄板を高速で鋳造。  
急冷凝固により不純物起因の化合物を微細分散し、無害化することが可能。



## 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。

また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

## 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料並びにIR関係のお問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

財務本部 IR部

[web-contact-ir@ml.uacj.co.jp](mailto:web-contact-ir@ml.uacj.co.jp)

<http://www.uacj.co.jp>

( 東証プライム 証券コード : 5741 )



*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界

